

アルコンセミナーは現地開催に加えてオンデマンドでも配信いたします。ご都合に合わせてじっくりご視聴ください。尚、ご視聴には学会参加登録が必要ですので、学会HPにて詳細をご覧ください。

<https://www.congre.co.jp/jos2022/>

ランチョンセミナー24

4月16日(土)

12:25～13:25

第7会場
大阪国際会議場 10階 1009

眼表面のシェアストレス…。 そして コンタクトレンズ・ディスコンフォート

シェアストレスは二つの物体の摩擦力と圧力から成る流体力学上の概念ですが、循環器疾患の領域においては、血流と血管内皮細胞の間のシェアストレスが内皮細胞の機能を変化させるとして注目されています。眼科領域においては、瞬目の際の眼瞼による涙液への物理的作用で生じる応力がシェアストレスとなり、眼表面上皮に影響を及ぼします。ドライアイでは、眼瞼圧、涙液量、涙液の粘度、瞬目速度によってシェアストレスや潤滑性が変化し、瞬目摩擦が角膜に及ぼす影響も変化します。一方、瞬目摩擦は、眼表面炎症、ひいては、異物感や眼痛を引き起こす原因にもなります。コンタクトレンズ(以下 CL)装用眼においても同様のメカニズムにより不快感が生じている可能性があります。

本セミナーでは、眼表面のシェアストレスに注目し、ドライアイおよびCL装用による不快感(コンタクトレンズ・ディスコンフォート:以下 CLD)への対応を考えてみたいと思います。ドライアイ領域での国際的権威である横井則彦先生には、ドライアイ発症のメカニズムをレビューしていただくとともに、眼表面のシェアストレス軽減という観点からのドライアイ治療について解説をいただきます。John Pruitt先生には、さまざまなCLによる角膜上皮細胞へのシェアストレスを評価した研究を紹介いただき、CL素材の観点からCLユーザーの眼表面でのシェアストレス軽減を考えてみたいと思います。

多くの先生方のご参加を心よりお待ちしております。



座長

木下 茂 先生
(京都府立医科大学)

講演 1

John Pruitt, PhD (Alcon Research)

Contact Lens Discomfort
from Shear Stress

講演 2

横井 則彦 先生 (京都府立医科大学)

ドライアイの第2の視点
瞬目摩擦の考え方とその治療